

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業支援課
 担当名：技術支援担当
 内線：3777

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B20	生産性向上のための成長ものづくり支援基盤強化事業		一般会計	商工費	商工業費	産業技術総合センター費	産業技術総合センター運営費		
事業期間	平成29年度～	根拠法令				宣言項目	08 稼ぐ力の向上		
						分野施策	040832 変化に向き合う中小企業と小規模事業者の支援		
1 事業概要			5 事業説明						
<p>自動車産業をはじめとする成長・次世代産業分野の県内中小企業の生産性向上を図るため、平成29年度国補正事業「地域新成長産業創出促進事業費補助金」を活用して必要な試験装置を導入し、本県の「稼ぐ力の向上」につなげるものである。</p> <p>(1) 生産性向上のための成長ものづくり支援基盤強化事業 20,199千円</p>			<p>(1) 事業内容 自動車産業ではポストエンジン化に伴う産業構造変化や、スマートモビリティ化が進展しており、これら成長・次世代産業分野の県内中小企業の生産性向上を図ることが急務となっている。そのため、これら成長・次世代産業分野の県内中小企業の生産性向上を図るための支援を行う。</p> <p>(2) 事業計画 自動車関連機器・部品には、使用時における環境条件（温度、振動、衝撃等）に耐えて機能することを実証することが求められる。特に、自動運転化等に対応したスマートモビリティに使用される機器・部品には、安全性の面から航空・宇宙産業向け部品並みに高度な信頼性・耐久性が求められる。そのため、自動車関連産業の県内企業にとっては、開発機器・部品の信頼性を向上し、品質保証を付与することが喫緊の課題となる。そこで、産業技術総合センターに衝撃試験装置を導入し、環境条件のうち（機械的な）衝撃波が加わることに対する強度・耐久性を評価できる体制を整備し、技術的な支援を行う。</p> <p>(3) 事業効果 自動車産業をはじめとする成長・次世代産業分野の生産性向上は喫緊の課題であるが、必要な先端技術に係る設備を県内中小企業が単独で導入・使いこなすことは困難である。そのため、県が基盤設備を整え、中小企業に技術的な支援を行うことで、製品の高品質化やクレーム・賠償リスク等の経営リスクが軽減できるため、県内企業が安心して成長・次世代分野に取り組み、生産性向上を図ることができる。さらに、自動車産業のみならず、航空・宇宙産業や医療機器産業など県内に集積する成長ものづくり分野の生産性向上に繋がることを期待される。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ・信頼性・耐久性評価に関する豊富な知識、経験を持つ職員のマンパワーを活用する。 ・首都圏の公設試（当県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市）において、地域未来投資促進法に基づく連携支援計画を策定し、より広域的かつ効果的な企業支援を行う。</p>						
2 事業主体及び負担区分									
県 (国10/10)									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1.0=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金							
決定額	20,199	20,199						0	20,199
現計額	0							0	